

鳴子の米通信

2019.6 Vol.19

特定非営利活動法人
鳴子の米プロジェクト
〒989-6832
宮城県大崎市鳴子温泉字星沼77-84
TEL 0229-29-9436
FAX 0229-29-9437
HP <http://www.komepro.org>



ホームページもご覧下さい!



田植え交流会2019 ～大学生らも参戦!!～

『令和』新しい時代へ

鳴子からCSAの挑戦

NPO法人鳴子の米プロジェクト

理事長 上野 健夫

平成から令和へと元号が変わり、新しい時代を迎えました。

鳴子の米プロジェクトもお陰様で14年目の春を迎え、春の作業がスタートいたしました。

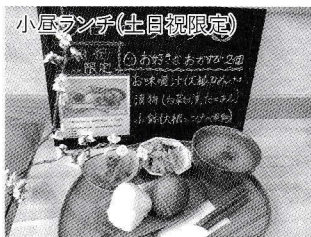
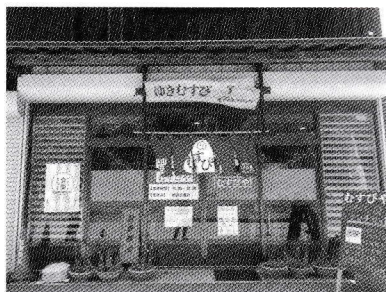
これまで、様々な事業を展開してきましたが、ことあるたびに思いを受け止めていただき、ご支援いただいた「食べ手」の皆様に改めて御礼申し上げます。

新しい令和の時代がスタートしたとはいえ、中山間地の農業は厳しさを増す一方です。特に、高齢化の波は確実に押し迫ってきており、後継者不足とも相まって米づくりをやめてしまう農家が年々増える傾向にあります。「こんな時だからこそ」米プロの本来の目標に向かって頑張らねばと、別の意味で新たな気持ちになっています。

このような状況の中、昨年からトヨタ財団の支援をいただきながら、「プロジェクト鳴子CSA」という新しい取り組みにチャレンジしています。この新たなCSAの活動は、地域支援型農業と言われているのですが、消費者とより強い信頼関係の下、米だけに限らず野菜や地場産品、加工食品など、幅広い分野で消費者との交流を図ることで、お互いの生活がよくなる仕組みが作れないかという実証の取り組みです。また、将来的には

『むすびや』とも連携して高齢者宅に野菜やおにぎり、お惣菜なども届けられるシステムが出来ないかも考えているところです。昨年一年を通して、宮城学院女子大学協力による地元調査や先進地視察、何度も勉強会を重ね、いよいよ今年には実践する年になりました。ぜひ多くの皆さんに、新たなCSAにモニターとして参加してほしいと思います。

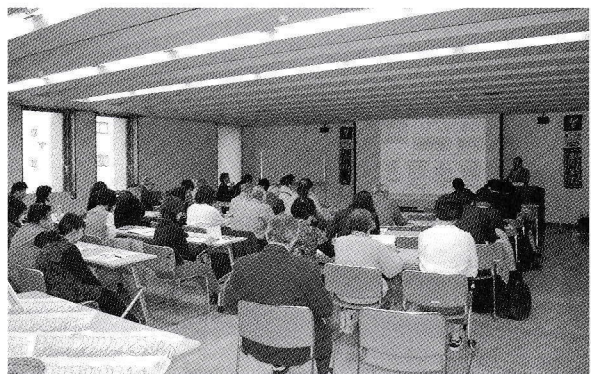
話は変わりますが、近年イノシシやシカ、クマといった野生の獣が、我が物顔で田畑に侵入し、農作物を荒らしています。農作物だけではなく、水路や農道までも壊していく始末です。中には人に危害を加える事故も起きており、深刻な問題になりつつあります。温暖化や原発事故による影響もありますが、これらの動物たちが増えてしまった原因の一つが、農地の荒廃にあるとも言われています。野生の獣からの被害を防ぎ、激化する気候と戦いながらも、先祖から受け継いだ農地を守っていくことが、農業に携わる者の務めだと思っています。様々な問題を抱えながらも頑張っていますので、今後ともこれまで以上のご支援をよろしくお願いいたします。



特集

『プロジェクト鳴子CSA』 進行中!!

米・野菜・加工品に広がる、作り手と食べ手の支え合い



プロジェクト鳴子CSAin仙台 ～仙台市民へCSAの提案～

鳴子の米プロジェクトでは、2018年度からトヨタ財団の助成を受けて、「プロジェクト鳴子CSA」（以下、鳴子CSA）の取組みを展開しています。

CSA(Community Supported Agriculture)とは、簡単にいえば「地域で農業と食を守る仕組み」のことです。13年前から作り手（生産者）と食べ手（消費者）をつないできた鳴子の米プロジェクトの活動は、まさに「米のCSA」ということができるでしょう。しかしこの13年の間に、農家の高齢化はさらに進行し、様々な問題が現われてきました。例えば、野菜づくりについては、これまで自家用野菜の余剰分を「市」に出すことを励みに続けてきましたが、高

齢になって集荷や運搬、販売が重い負担になってきました。また地域の食べ手側も、近所に生鮮品を売る店がなくなったり、高齢で買物が大変になったり等の問題を抱えるようになりました。

そこで、これらの課題解決に向けて、これまでの米のCSAに、新たに野菜や加工品の品目も加えて、仙台や地元の食べ手の皆さんに会員登録による契約購入をしてもらい、定期的に野菜等を提供する鳴子CSAの仕組みづくりに着手することにしました。農家の負担を少なくし、また相互の交流を深めるために、食べ手の皆さんには野菜を「受渡し場所」まで取りに来てもらいます。鳴子CSAは双方の結び役として、集荷・運搬・販売を担うほか両者のネットワークづくりに力を注いでいきます。そして、最終的には、この事業が地域の「若者の仕事」として成り立てば、と考えています。

2018年度は、プロジェクト実現に向けた準備期間として「学び」や「調査」に力を注ぎました。以前から継続してきた「CSA塾」を開催し、若者を中心にCSAについての学びを深めました。さらに農家の野菜づくりの実態を捉える「農業資源調査」では、宮城学院女子大学現代ビジネス学科宮原育子先生のご指導のもと同科学生10名が参加し、10軒の農家の詳細な聞き取りを行い野菜

づくりへの思いや問題について明らかにしました。

また、鬼首地区では「鬼首塾」を開催し、途絶えつつあった伝統野菜「鬼首菜」の復活と活用に向けて、「鬼首菜隊」（ずなっこ隊）を組織しながら栽培と調理加工の実験に取り組みました。米のCSAのシンボルが「ゆきむすび」とすれば、まさに野菜のシンボルとして「鬼首菜」を取り上げていきたいと考えています。そして、年度の集大成として、2019年3月17日に、仙台市民とCSAについて考え合う「プロジェクト鳴子CSA in Sendai」を開催し、鳴子CSAの報告と、総合アドバイザー結城登美雄先生のご講演により、多くの方から取組みへの賛同を得ることができました。

2019年度は、鳴子CSAの試行期間と位置づけています。最初は、仙台50名、地元50名、計100名の皆さんに「仮登録会員」になっていただくことを目標に進めていきます。まずは7月から11月までの期間に試験的にを行い、様々な課題や改善点をチェックして来年度からの本格始動に備えていきます。現在、仙台と地元の「受渡し場所」もほぼ確定し、運営スタッフとして若者が参画することになりました。

皆さまのご理解とご支援を糧に、「地域の食と農を守る」という私たちのミッションの実現に向

けて、小さな一歩を踏み出したいと考えています。

「プロジェクト鳴子CSA」事務局



プロジェクト鳴子CSAin仙台
～結城登美雄先生の講演～



宮城学院女子大学生の鳴子調査報告と
石巻フィッシャーメンジャパンの活動報告



宮城学院女子大学生による
農業資源調査in川渡



宮城学院女子大学生による
農業資源調査in鬼首



新潟県村上市高根地区への視察研修&若
者交流 ～若者による廃校と資源の活用～

鳴子の米プロジェクト[ゆきむすび] 令和元年産米のご予約受付中!

鳴子の米プロジェクトでは、事前予約によって、作り手と食べ手の双方が安定した安心な暮らしを実現できるようCSA(*)とよばれる試みを推進しています。

今年も、一束ずつくいにかけて天日に干す「くい掛け」と、機械で刈り取り、脱穀、乾燥調整を行う「コンバイン生産」の2種類のご予約を承ります。米づくりのなつかしい田園の風景を保全しながら、高齢化する作り手を守る2つの生産方法をどうぞご理解ください。

★CSA推進 年間60kg以上予約で、お楽しみプレゼントあり!

1人が1年間に食べるお米の量(約60キロ)を9月末までにご予約いただいた方に、オリジナルプレゼントをお送りしています。毎年新たなデザインでお送りしている手ぬぐいは、大好評です。どうぞ今年もお楽しみに!

*CSA (Community Supported Agriculture)

▶ご予約は、下記ホームページより注文書をダウンロードし、ファクスでお送りください。

**予約
スタート!**

鳴子の米プロジェクト[ゆきむすび] 価格表 (消費税込) くい掛け* 500俵限定 コンバイン生産*

キロ数	玄米価格	白米(精米済み)価格
5kg	2,500円	2,800円
10kg	5,000円	5,600円
25kg	12,500円	14,000円

*くい掛けとは、刈りとった稲をくいに掛け天日でゆっくり乾燥するものです。出荷は11月下旬になります。

キロ数	玄米価格	白米(精米済み)価格
5kg	2,100円	2,400円
10kg	4,200円	4,800円
25kg	10,500円	12,000円

*コンバイン生産とは機械による刈り取り、脱穀、乾燥で、一般に広く行われているものです。

●送料/鳴子での受け取り以外は、送料+宅配用箱代がかかります。

箱代/5kg~10kg=70円、25kgまで=120円(1箱の重さは25kg以内) (単位 円)

キロ数	宮城県内	東北	北海道	関東信越	中部北陸	関西	中国四国	九州	沖縄
15kgまで	760	1,170	1,520	1,170	1,400	1,400	1,520	1,700	3,390 (5kgまで)
25kgまで	1,100	1,290	1,640	1,290	1,520	1,520	1,640	1,810	4,560 2,220

▶消費税率が引き上げられた場合は、米代・送料・箱代が改訂になります。改訂後の価格は追ってお知らせいたします。HPも合わせてご覧ください。

●お問い合わせは ▶特定非営利活動法人 鳴子の米プロジェクト事務局 (平日午前9時~午後4時)
〒989-6832 大崎市鳴子温泉字星沼77-84 (JR中山平温泉駅近く)

電話 0229-29-9436 ホームページ <http://www.komepro.org>
FAX 0229-29-9437 Eメール komepro181@yahoo.co.jp

★ホームページもご覧ください。